

授業科目

日常生活活動学実習I

担当教員名 貝淵 正人、外川 佑、藤目 智博	対象学年	3	対象学科	作業
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	◎

授業の概要

片麻痺患者を例に、片麻痺患者の各動作の特徴を知り、動作分析方法を学びながら、FIMやBIの利用方法を習得する。臨床応用として、実際の片麻痺患者の方にご協力いただき、ADL評価を実施する。

授業の目的

日常生活活動（ADL）および生活関連活動（IADL）分析・評価および、障害者への支援・指導法など応用的技法について修得する。

学習目標

1. 健常者の基本動作の特徴を分析することができる。
2. ADL評価を的確にできる。
3. クライアントのADLを正しく観察することができる。
4. 対象者に真摯な態度で接し、正しく安全に介助することができる。
5. 対象者の予後を想定し、OTプログラムを立案することができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	ADL評価法	実習 貝淵	貝淵 正人
2	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
3	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
4	起居・移乗動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
5	移動動作 支援方法含む	実習	藤目 智博
6	食事・整容動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
7	更衣動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
8	トイレ動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
9	入浴動作 支援方法含む	講義・演習	外川 佑
10	生活関連活動 支援方法を含む	講義・演習	貝淵 正人
11	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
12	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
13	ADL評価実践	講義・演習	貝淵 正人
14	片麻痺患者のADL	講義・演習	貝淵 正人
15	片麻痺患者のADL	講義・演習	貝淵 正人

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	ADLとその周辺 第3版	伊藤利之、鎌倉矩	医学書院	2016	6,000円+	

		子		年	税	
参考書	イラスト わかりやすい移動の仕方 第4版	井口恭一	三輪書店	2015年	4,410円	
	動作分析 臨床活用講座	石井慎一郎	メディカルビュー社	2013年	5,600円+税	
その他の資料						

評価方法

期末試験を評価とします

履修上の留意点

動きやすい服装で参加すること。
対象者と接する場合には医療従事者らしい真摯な態度で臨むこと。

オフィスアワー・連絡先

貝淵 火・木 14時～17時 kaifuti@nuhw.ac.jp